

## 平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0409	視聴覚教育推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習の取り組み支援					
対象	市民、市内に勤務先を有する者					
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
視聴覚教育事業 ・視聴覚資料の貸出（随時） ・16ミリ映写機操作技術講習会 ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）及び保守点検（7台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ・こども読書週間時 1回 ・読書週間時 2回 ・休日ほっと映画会（毎月1回）						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 映画会開催数	回		計画	26	26	
			実績	41	33	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 映画会視聴者数	人		目標	1,400	1,400	
			実績	1,165	1,122	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	<input type="radio"/>	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
H26年度からは、参加しやすい休業期間（夏・冬）の回数を増やすとともに、4月のこども読書週間や秋の読書週間の期間を行うことにより、参加者の増加を見込んだが、学校の授業内容変更に伴い、2学年以降の児童の参加が難しくなったことから、視聴者数が減少する傾向にある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	多くの児童が視聴できる開催時間、開催日を再検討をするとともに、引き続き図書館ホームページに視聴覚ライブラリーの情報掲載や振興センターと連携した映画会を開催するなど、視聴覚資料の利用拡大を図る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。 ・非常勤職員1名で映画会を月2回及び春・夏・冬・読書週間の休業期間の映画会に対応している。また他には他市町村や市内の団体等への視聴覚資料の貸出しや16ミリ講習会、カウンター業務及びレファレンス業務に当たっており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っているもので、受益者への偏りはない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
視聴覚教育事業の実施方法を見直しするとともに、引き続き図書館ホームページに視聴覚ライブラリー情報の提供、振興センターとの連携により活用促進を図っていく。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤佐代 内線 8-383

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	0409	視聴覚教育推進事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,504	2,739		235
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,504	2,739		235

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
生涯学習の推進を図ります。

事業開始の背景・経緯  
社会教育法第5条第12号に規定する視聴覚教育に関する事務で、平成19年3月までは、岩手県中部地域視聴覚協議会として事業を実施してきた。平成19年4月からは、花巻市立花巻図書館に事務事業が引き継がれ、事業を実施している。

事業概要  
視聴覚教育事業  
・視聴覚資料及び機器の貸出(随時)  
・16ミリ映写機操作技術講習会  
・16ミリ映写機オーバーホール(1台)及び保守点検(7台)  
・図書館こども映画会(毎月1回)  
・夏・冬・春休みこども映画会(各1回)  
・こども読書週間時  
・読書週間時 2回  
・休日ほっと映画会(毎月1回)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等  
視聴覚資料の紹介や機器の利用促進を図るとともに、映画会等事業に参加しやすい日程や時間帯を再検討し、参加者の増員に努める。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

事業の概要

- ① 視聴覚教育の相談及び教材の貸出(年間)
- ② 16ミリ映写機操作技術講習会(年1回)
- ③ 16ミリ映写機オーバーホール(1台)、保守点検(7台)
- ④ 図書館こども映画会(毎月1回)
- ⑤ 夏・冬・春休みこども映画会(各1回)
- ⑥ こども読書週間時 1回
- ⑦ 読書週間時 2回
- ⑧ 休日ほっと映画会(毎月1回)

経費の内訳

- |               |       |                        |
|---------------|-------|------------------------|
| 1 報酬          | 1,894 | 社会教育指導員1人              |
| 2 共済費         | 276   | 社会教育指導員社会保険料等          |
| 3 報償費         | 18    | 16mm映写機操作講習会講師謝礼       |
| 4 旅費          |       | 視聴覚教育協議会会議等            |
| 5 需用費         | 77    | 映写ランプ等                 |
| 6 役務費         | 143   | 16mm映写機保守点検料等          |
| 7 備品購入費       | 314   | 視聴覚資料(DVD)DVD内蔵プロジェクター |
| 8 負担金補助金及び交付金 | 17    | 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会     |

保守点検対象機器所有台数  
16ミリ映写機 25台(花図5・大図1・石図1・東図2・学校1・振興センター7他)

花巻図書館ライブラリー機材保有台数  
①DVDプレーヤー 1台  
②プロジェクター 4台

花巻図書館ライブラリー資料所有本数  
①16ミリフィルム 126本  
②DVD 221本  
③ビデオテープ 736本

平成27年度花巻市内教材利用状況(県内ライブラリー借用上映も含む)  
観覧者数 5,421人 上映回数 223回 教材使用本数 303本

平成27年度16ミリ映写機保守点検(7台)  
16ミリフィルムの破損防止を図るため、利用頻度の高い機器を中心に数年に1回点検を実施  
花巻図3・大迫図1・生涯学園都市会館・花南振興センター・大迫総合支所  
(交換部品がある場合は所有者負担)